

震災後、重要文化財である河川構造物では全国初  
～重要文化財「石井閘門」の補修に向け調査に着手～

石巻市に位置する重要文化財「石井閘門」は、完成後132年(明治13年完成)が経過しており、長い年月による施設の老朽化に加え、昨年3月の東北地方太平洋沖地震及び津波により被災したことから、施設補修のための本格的な調査を行うこととしました。

当該施設は重要文化財(平成14年5月指定)であり、また、震災後の河川構造物の補修は事例が無いことから、学識者等による委員会を設立し、助言を頂きながら、進めることとしましたのでお知らせします。

《参考》

石井閘門

・明治13年(1880年)に完成し、東北地方開発の拠点として建設を進めた野蒜築港事業の代表的な遺構であり、西洋から取り入れた近代土木技術によるはじめて整備された現在国内で稼働しているものとしては最古の閘門\*

・平成14年5月(2002年)に、国の重要文化財に指定

※閘門とは、水位の異なる河川や運河などの間で水位を調節し、航行する船を上下させるための施設

○過去の補修事例

・平成22年に中島閘門(富山市)の門扉の分解整備、塗替塗装等の補修実績がある

■第1回委員会の開催日時

平成24年8月8日(水)

現地視察：13時30分～

委員会：14時30分～

※委員会は16時頃の終了を予定しています

■現地視察及び委員会開催場所

○現地視察

石井閘門(石巻市水押3丁目6)

○委員会会場

石巻グランドホテル 2F 鳳凰の間(石巻市千石町2-10)

■委員会次第

別紙参照

※気象状況等によっては、委員会を延期することがあります

※発表記者会：石巻記者クラブ、古川記者クラブ

国土交通省北上川下流河川事務所

石巻市蛇田字新下沼80

電話0225-95-0194(代表)

技術副所長 佐藤 伸吾(内線205)

管理課長 畑山 作栄(内線331)

# 位置図



震災前の石井閘門 H17年4月頃



震災直後の石井閘門 H23年3月14日

# 第 1 回

## 重要文化財「石井閘門」保全対策検討委員会 議事次第

日 時 : 平成 24 年 8 月 8 日 (水)  
現地視察場所 : 石井閘門 (石巻市水押 3 丁目 6)  
委員会開催場所 : 石巻グランドホテル 鳳凰の間 (2F)  
(石巻市千石町 2 - 1 0)

現地視察 「石井閘門」 13 : 30 ~

委員会 14 : 30 ~

### 1. 開会

### 2. 北上川下流河川事務所長 あいさつ

### 3. 委員会設立と規約等について

- (1) 委員紹介
- (2) 設立趣旨 (案) について
- (3) 規約 (案) について
- (4) 委員長の推薦について

### 4. 委員長 あいさつ

### 5. 第 1 回委員会 議事

- (1) 公開方法 (案) について
- (2) 委員会の目的、スケジュールについて
- (3) 石井閘門の概要について
- (4) 補修・保全に向けた基礎調査について
- (5) その他

### 6. 閉会

別表

## 重要文化財「石井閘門」保全対策検討委員会 委員名簿

(委員)

あべ たかひろ 阿部 貴弘	日本大学理工学部社会交通工学科 准教授
かざま そう 風間 聡	東北大学大学院工学研究科 教授
きむら つとむ 木村 勉	長岡造形大学建築・環境デザイン学科 教授
ごとう こうき 後藤 光亀	東北大学大学院工学研究科 准教授
ちの やすあき 知野 泰明	日本大学工学部土木工学科 准教授
ながい やすお 永井 康雄	山形大学地域教育文化学部 教授
はせがわ なおじ 長谷川 直司	独立行政法人建築研究所 建築生産グループ長
へんみ せいじ 邊見 清二	石巻千石船の会 会長

(敬称略 五十音順)

(オブザーバー)

きたがわ だいじろう 北河 大次郎	文化庁文化財部 参事官
せきぐち しげき 関口 重樹	宮城県教育庁文化財保護課 技術主査
はが ひでみ 芳賀 英実	石巻市教育委員会生涯学習課 主幹
ことの ひろし 古藤野 弘	宮城県東部土木事務所 副所長
さとう かつひで 佐藤 克英	国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所 所長